

1. この資料について

この資料では日医標準レセプトを version4.7.0 にアップグレードする際に必要となるカスタマイズ帳票の修正内容について説明を行います。

帳票作成ツール monpe のバージョンアップに伴い、カスタマイズ帳票に下記の作業が発生します。

＜全ての帳票について行う作業＞

- ・ 帳票テンプレートファイル(*.red) のコンバート

＜コンバートに伴う項目位置のずれが発生した帳票について行う作業＞

- ・ 帳票レイアウトの微調整
- ・ プログラムの修正（折り返しの設定がある項目）

次頁より、各作業の詳細について説明を行います。

2. monpe のバージョンアップについて

日医標準レセプトソフト version 4.7.0（以下日レセ 4.7.0）にて帳票開発ツール monpe のバージョンアップを行います。

新しい monpe (monpe-0.6.20) では標準フォントが Takao 明朝フォントに変更となります。また、以前の monpe では印刷用にポストスクリプトファイルを作成していましたが、フォントがプリンタの設定に依存し、帳票作成時と印刷時のイメージが異なる場合があります。monpe-0.6.20 ではフォントを埋め込んだ pdf ファイルを作成しますので、帳票作成時のイメージがそのまま印刷されるようになります。

バージョンアップ前後の帳票イメージの比較
保険別請求チェック表（社保）外来（HCGS137G.red）
日レセ 4.6.0

保 険 別 請 求 チェック 表 （ 社 保 ）							
平成24年 1月 外来							
1 頁 平成24年 2月 2日							
保険区分	件数	日数	点数	患者負担額	保険請求額	公費請求額	保険診療 収益
高9・公費併用							
高9単独							
01							
02							
03							
04							
31~34							
06							
63・72~75							
小計							
高7・公費併用							
高7単独							
01							
02							
03							
04							
31~34							
06							
63・72~75							
小計							
本人・公費併用	2	2	540		3780	1620	5400
本人単独	2	2	540	1620	3780		5400
01							
02							
03							
04							
31~34							
06							
07							
63・72~75							
小計	2	2	540	1620	3780		5400
家族・公費併用							
家族単独							
01							
02							
03							
04							
31~34							
06							
63・72~75							
小計							
6歳・公費併用							
6歳単独							
01							
02							
03							
04							
31~34							
06							
63・72~75							
小計							
小計①（医療保険）	4	4	1080	1620	7560	1620	10800

保険区分	件数	日数	点数	患者負担額	保険請求額	公費請求額	保険診療 収益
公費単独							
公費併用2							
公費併用3							
小計②（公費単独 公費と公費の併用）							
総計 （①+②）	4	4	1080	1620	7560	1620	10800

公費単独および 併用公費一覧	件数	日数	点数
12（生活保護）	1	1	270
15（更生）	1	1	270

公費一覧	件数	日数	点数
件数計	2		

その他計	自費	減免	調整金1	調整金2	窓口請求 端数処理額
社保					

- (1) 帳票ビューにメニューバーが実装されました（右クリック→ポップアップメニューはなくなりました）。
- (2) 既に配置しているテキスト項目に文字を入力する際、テキスト選択後にツールボックスより「I」（文字列の編集モード）を選択するようになりました。
- (3) 埋め込みオブジェクト（COBOL から編集する項目）の折り返しの指定が「バイト数」から「文字数」に変わりました。これについては、「5. 折り返しの設定がある項目のプログラムの修正について」に詳細を記述しています。
- (4) 帳票ビューに配置している埋め込みオブジェクトを複数選択してコピー＆ペーストした際に辞書で定義している配列数を超えた場合、超えた項目はダミーオブジェクトとして作成されるようになりました。
ダミーオブジェクトをいずれか 1 つを選択して帳票ビューのメニューより「選択」→「次で選択」→「Fill Color」を選ぶと、ダミーオブジェクトが全て選択された状態となりますので、DELETE キーより削除してください。

3. 帳票テンプレートファイルのコンバートについて

日レセ 4.7.0 で帳票テンプレートファイルのフォーマットを変更しています。このフォーマットは日レセ 4.6.0 の帳票テンプレートファイルと互換性はありません。

このため、4.6.0 以前に作成した帳票テンプレートファイルを 4.7.0 で使用する為には日レセを 4.7.0 にバージョンアップした後、下記に示す方法により、新しいフォーマットにコンバートする必要があります。

新しいフォーマットにコンバートした帳票テンプレートファイルは 4.6.0 以前の日レセでは使用できませんので、ご注意ください。

<帳票テンプレートファイルコンバート方法>

(例 1) HCM01. red を日レセ 4.7.0 用にコンバートする場合

```
/usr/lib/jma-receipt/scripts/tools/orcred2conv. sh HCM01. red
```

(例 2) 複数の帳票テンプレートファイルを纏めてコンバートする場合

```
/usr/lib/jma-receipt/scripts/tools/orcred2conv. sh HCM01. red HCM02. red HCM03. red ...
```

(例 3) ディレクトリ内の帳票テンプレートファイルを全てコンバートする場合

```
/usr/lib/jma-receipt/scripts/tools/orcred2conv. sh *. red
```

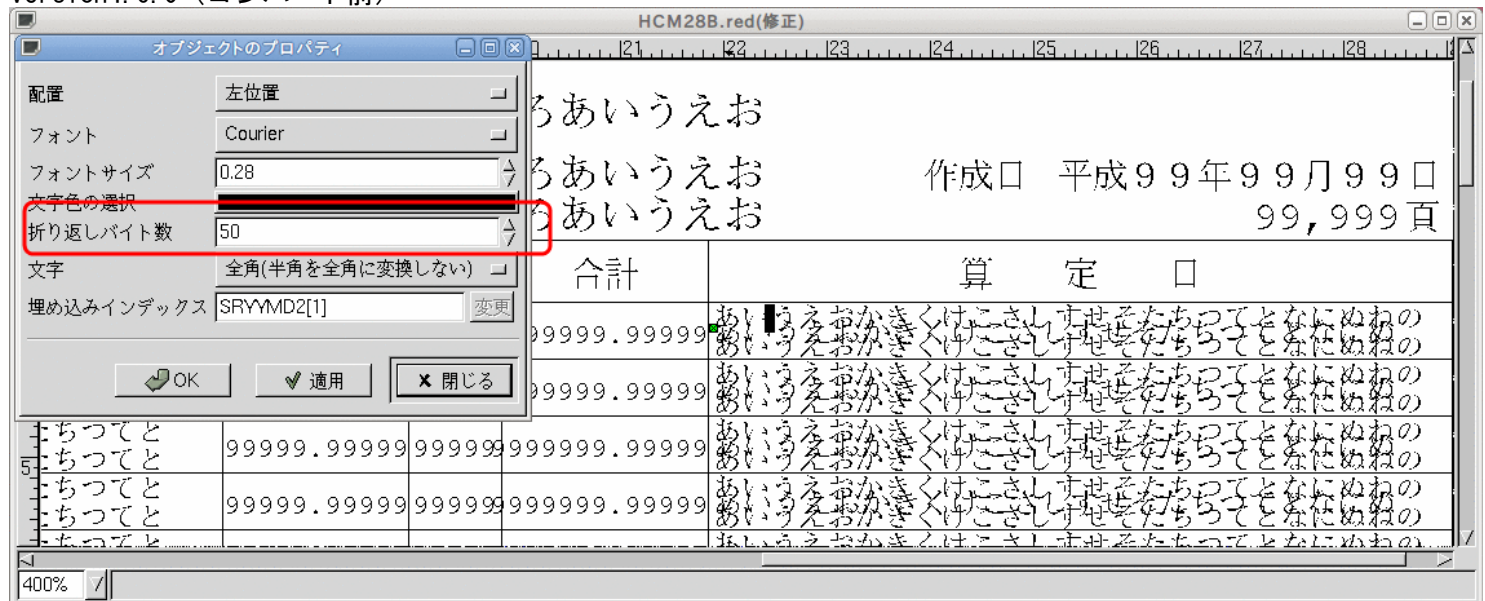
スクリプト実行時に “-b” オプションを指定すると、バックアップファイル (元のファイル名+ “. bak”) の作成を行います。

(例 4) HCM01. red コンバート時にコンバート前の帳票テンプレートファイルのバックアップ (HCM01. red. bak) を作成する場合

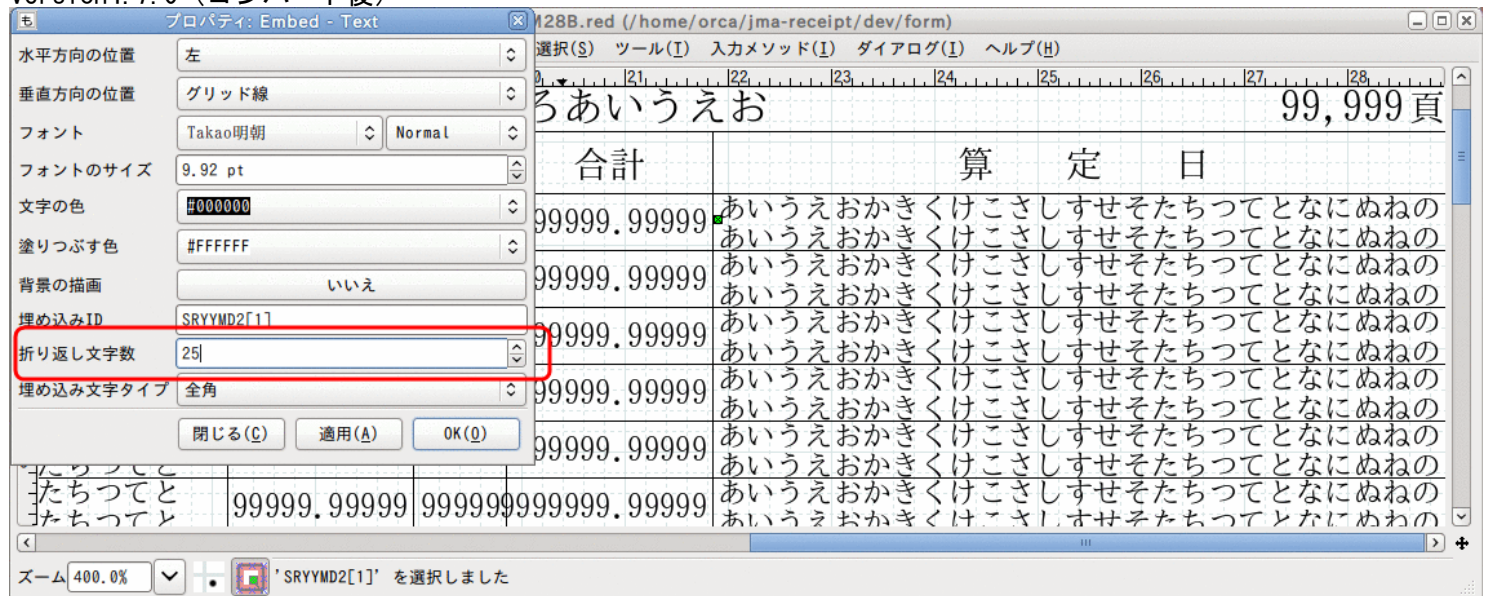
```
/usr/lib/jma-receipt/scripts/tools/orcred2conv. sh -b HCM01. red
```


5. 折り返しの設定がある項目のプログラムの修正について

アプリケーションから編集を行う項目の折り返しの設定方法が“バイト数”から“文字数”に変更となりました。
この為、コンバート後の帳票テンプレートファイルには元のバイト数を2で割った値が折り返し文字数に設定されます。
version4.6.0（コンバート前）



version4.7.0（コンバート後）



この変更により、下記例のようなコーディングで行なっている場合は、プログラムの修正を行う必要があります。

*折り返し指定(25文字)項目の上段・下段に編集を行う

MOVE SPACE TO WRK-MEMO

MOVE "上段" TO WRK-MEMO(1:4)

MOVE "下段" TO WRK-MEMO(51:4)

*monpe-0.6.20では半角スペースが1文字扱いとなるので、下段の編集位置にずれが発生します。

*このため、半角スペース2文字を全角スペース1文字に置き換えて調整します。

* INSPECT WRK-MEMO REPLACING ALL " " BY "□"

(※" "は半角スペース2文字、"□"は全角スペース1文字を表しています。)

また、半角文字を編集する項目は折り返し文字数をコンバート前の値に戻す修正が発生します(修正を行わない場合、コンバート前の半分の文字数で折り返されます)。

(例) 患者番号を10桁で折り返すように指定していた場合

(コンバート前)

折り返しバイト数 10

(コンバート後)

折り返し文字数 5 <= 10に戻します。

折り返し設定項目の有無は印刷結果からの確認が困難なことから、帳票テンプレートファイルのテキスト項目の設定内容を出力するスクリプトを用意しました。

スクリプトはプログラムから埋め込む項目以外のテキスト項目の内容も出力しますので、確認作業の参考にしてください。

<スクリプト実行例>

/usr/lib/jma-receipt/scripts/tools/orcred2textview.rb HCM01.red > redtext.log

帳票テンプレートファイルはコンバート後のものを指定してください。また、帳票テンプレートファイルは複数指定が可能です。

cat redtext.log

redfile	object	id	font	style	text_size	column_size	text	text_type1	text_type2
HCM01.red	Standard - Text		Takao	明朝	0	0 0	診 療 録	0	0
HCM01.red	Standard - Text		Takao	明朝	0	0 0	氏 名	0	0
HCM01.red	Standard - Text		Takao	明朝	0	0 0	生年月日	0	0
HCM01.red	Standard - Text		Takao	明朝	0	0 0	住 所	0	0
HCM01.red	Standard - Text		Takao	明朝	0	0 0	職 業	0	0
HCM01.red	Standard - Text		Takao	明朝	0	0 0	受診者	0	0
HCM01.red	Standard - Text		Takao	明朝	0	0 0	被保険者証	0	0
HCM01.red	Standard - Text		Takao	明朝	0	0 0	被保険者手帳	0	0
HCM01.red	Standard - Text		Takao	明朝	0	0 0	記号・番号	0	0
HCM01.red	Standard - Text		Takao	明朝	0	0 0	被保険者氏名	0	0
HCM01.red	Standard - Text		Takao	明朝	0	0 0	資格取得日	0	0
HCM01.red	Standard - Text		Takao	明朝	0	0 0	有効期限	0	0
HCM01.red	Standard - Text		Takao	明朝	0	0 0	事業所	0	0
HCM01.red	Standard - Text		Takao	明朝	0	0 0	所在地	0	0
HCM01.red	Standard - Text		Takao	明朝	0	0 0	名 称	0	0
HCM01.red	Standard - Text		Takao	明朝	0	0 0	保険者番号	0	0
HCM01.red	Standard - Text		Takao	明朝	0	0 0	傷 病 名	0	0
HCM01.red	Standard - Text		Takao	明朝	0	0 0	職務	0	0

※各項目はタブ文字で区切られています。日本語文字コードはUTF8となります。

スクリプトでは、1 列目から順に帳票テンプレートファイル名、オブジェクト名、埋め込み項目 I D、フォント名、フォントスタイル、埋め込み項目最大長（バイト数）、埋め込み項目折り返し（文字数）、テキスト内容、テキストタイプ1、テキストタイプ2を返却します。

帳票テンプレートファイル名	帳票テンプレートファイル名を編集します。
オブジェクト名	テキスト項目のオブジェクト名を編集します。 Standard - Text: 帳票テンプレートファイルに直接編集を行うテキスト項目 ORCA - TextCircle: 帳票テンプレートファイルに直接編集を行う丸囲みテキスト項目 Embed - Text: アプリケーションより編集を行うテキスト項目（埋め込み項目）
埋め込み項目 I D	埋め込み項目の I D を編集します。
フォント名	フォント名を編集します。
フォントスタイル	フォントスタイルを編集します。 0 : 通常 8 : 斜体 8 0 : 太字 8 8 : 太字・斜体
埋め込み項目最大長	埋め込み項目の最大長をバイト数で編集します。 埋め込み項目でない場合は 0 を編集します。
埋め込み項目折り返し	折り返し指定がある項目の 1 行の長さを文字数で編集します。 折り返しの指定がない、または埋め込み項目でない場合は 0 を編集します。
テキスト内容	テキスト項目のテキスト内容を編集します。
テキストタイプ 1	埋め込み項目の文字タイプを編集します。 0 : 全角 1 : 半角 埋め込み項目でない場合は 0 を編集します。
テキストタイプ 2	テキスト項目のテキスト内容に全角文字を含む場合は 0 を編集します。 テキスト項目のテキスト内容が半角文字のみの場合は 1 を編集します。

6. 標準帳票をコンバートした際に行ったその他の修正内容について

標準帳票を変換した際に行ったその他の修正内容を事例として記述します。
変換後の帳票を確認する際の参考にしてください。

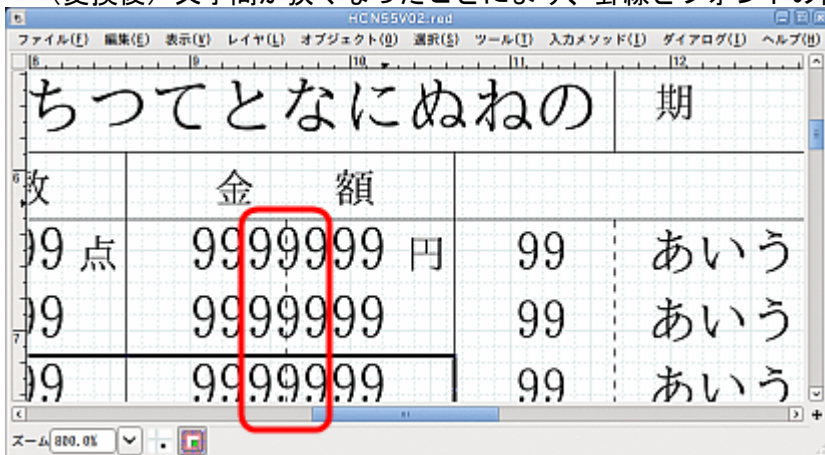
- ・全角項目で変換前は通常のフォントだったものが、変換後に斜体で編集される場合があります。
これは、変換前のフォントが「Courier」ではなく「Courier-Oblique」（斜体フォント）であったことによるものでした。
「Courier-Oblique」は変換後、「Takao 明朝 Italic」となりますので、これを「Takao 明朝」に修正しました。
- ・数字の桁に合わせて罫線を編集していた場合に、半角フォントの文字間が狭くなったために、罫線から数字がずれて編集されるようになりました。これについては、項目の編集位置を調整して対応しました。

（変換前）



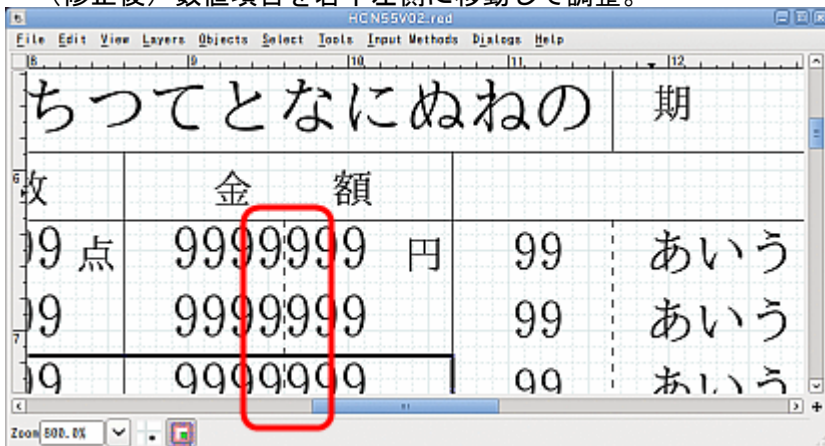
ちつてとなにぬねの		期	
枚	金 額		
9 点	9999999 円	99	あいう
9	9999999	99	あいう
9	9999999	99	あいう

（変換後）文字間が狭くなったことにより、罫線とフォントの位置がずれてしまう。



ちつてとなにぬねの		期	
枚	金 額		
99 点	9999999 円	99	あいう
99	9999999	99	あいう
99	9999999	99	あいう

（修正後）数値項目を若干左側に移動して調整。



ちつてとなにぬねの		期	
枚	金 額		
99 点	9999999 円	99	あいう
99	9999999	99	あいう
99	9999999	99	あいう

- ・レセプトおよび会計カードの区切り線に使用している文字を全角マイナス（－）から全角ダッシュ（—）に変更しました。これは今回の対応とは直接関係ありませんので、同様の編集をカスタマイズ帳票で行われている場合も同じ変更をする必要はありません。